

第 7 次大分県医療計画の進捗状況について

- ・ P 1 ～ 脳卒中医療
- ・ P 5 ～ 心筋梗塞等の心血管疾患医療

第 7 次大分県医療計画の進捗状況について（脳卒中医療）

医療計画の記載内容	現 状																																																
<p>(現状及び課題)</p> <p>(1) 脳卒中による死亡の現状</p> <p>○ 令和元年の人口動態統計によると、本県における脳卒中（脳血管疾患）の死亡者数は、1,186 人で総死亡数に占める割合は 8.1 %であり、死亡原因の第 4 位となっています。脳卒中は、脳梗塞、脳内出血、くも膜下出血、その他に大別され、死亡数の内訳は、脳梗塞 680 人、脳内出血 320 人、くも膜下出血 132 人、その他 54 人となっています。また、脳卒中中の死亡率（人口 10 万人あたり）は、105.6 で、全国平均の 86.1 に比べ高くなっています。その内訳は、脳梗塞 60.6、脳内出血 28.5、くも膜下出血 11.8、その他 4.8 となっています。一方、年齢調整死亡率（人口 10 万人あたり）をみると、平成 27 年で男性 34.2（全国平均 37.8）、女性 18.8（全国平均 21.0）と、全国よりやや低くなっています。</p> <p>【令和元年】</p> <p>○ 本県における脳卒中中の死亡数・死亡率 死亡原因 第 4 位</p> <table border="1" data-bbox="197 906 1081 1046"> <tr> <td colspan="4">死亡数（人）1,186 人（総死亡数に占める割合 8.1%）</td> </tr> <tr> <td>脳梗塞</td> <td>脳内出血</td> <td>くも膜下出血</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>680</td> <td>320</td> <td>132</td> <td>54</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="197 1090 1081 1230"> <tr> <td colspan="4">死亡率 105.6（全国 86.1）</td> </tr> <tr> <td>脳梗塞</td> <td>脳内出血</td> <td>くも膜下出血</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>60.6</td> <td>28.5</td> <td>11.8</td> <td>4.8</td> </tr> </table> <p>（令和元年厚生労働省人口動態統計、令和元年大分県人口動態統計より）</p>	死亡数（人）1,186 人（総死亡数に占める割合 8.1%）				脳梗塞	脳内出血	くも膜下出血	その他	680	320	132	54	死亡率 105.6（全国 86.1）				脳梗塞	脳内出血	くも膜下出血	その他	60.6	28.5	11.8	4.8	<p>(令和 4 年度 現状)</p> <p>【令和 3 年】</p> <p>○ 本県における脳卒中中の死亡数・死亡率 死亡原因 第 4 位</p> <table border="1" data-bbox="1173 906 1989 1046"> <tr> <td colspan="4">死亡数（人）1,144 人（総死亡数に占める割合 7.6%）</td> </tr> <tr> <td>脳梗塞</td> <td>脳内出血</td> <td>くも膜下出血</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>659</td> <td>296</td> <td>120</td> <td>69</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="1173 1090 1989 1230"> <tr> <td colspan="4">死亡率 103.8（全国 85.2）</td> </tr> <tr> <td>脳梗塞</td> <td>脳内出血</td> <td>くも膜下出血</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>59.8</td> <td>26.9</td> <td>10.9</td> <td>6.2</td> </tr> </table> <p>（令和 3 年厚生労働省人口動態統計、令和 3 年大分県人口動態統計より）</p>	死亡数（人）1,144 人（総死亡数に占める割合 7.6%）				脳梗塞	脳内出血	くも膜下出血	その他	659	296	120	69	死亡率 103.8（全国 85.2）				脳梗塞	脳内出血	くも膜下出血	その他	59.8	26.9	10.9	6.2
死亡数（人）1,186 人（総死亡数に占める割合 8.1%）																																																	
脳梗塞	脳内出血	くも膜下出血	その他																																														
680	320	132	54																																														
死亡率 105.6（全国 86.1）																																																	
脳梗塞	脳内出血	くも膜下出血	その他																																														
60.6	28.5	11.8	4.8																																														
死亡数（人）1,144 人（総死亡数に占める割合 7.6%）																																																	
脳梗塞	脳内出血	くも膜下出血	その他																																														
659	296	120	69																																														
死亡率 103.8（全国 85.2）																																																	
脳梗塞	脳内出血	くも膜下出血	その他																																														
59.8	26.9	10.9	6.2																																														

第 7 次大分県医療計画の進捗状況について（脳卒中医療）

医療計画の記載内容			現 状														
(目標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>現状</th> <th>目標 (令和 5 (2023) 年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>脳血管疾患年齢調整死亡率 (人口 10 万人対)</td> <td>男性 : 34.2 (H27) 女性 : 18.8 (H27)</td> <td>男性 : 27.4 女性 : 15.0</td> </tr> </tbody> </table>			項目	現状	目標 (令和 5 (2023) 年度)	脳血管疾患年齢調整死亡率 (人口 10 万人対)	男性 : 34.2 (H27) 女性 : 18.8 (H27)	男性 : 27.4 女性 : 15.0	(目標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>現状 (平成 27 (2015) 年)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>脳血管疾患年齢調整死亡率 (人口 10 万人対)</td> <td>男性 : 34.2 (H27) 女性 : 18.8 (H27)</td> </tr> </tbody> </table> ※令和 2 年都道府県別年齢調整死亡率は令和 5 年 1 2 月頃公表予定 (厚生労働省ホームページより)			項目	現状 (平成 27 (2015) 年)	脳血管疾患年齢調整死亡率 (人口 10 万人対)	男性 : 34.2 (H27) 女性 : 18.8 (H27)		
項目	現状	目標 (令和 5 (2023) 年度)															
脳血管疾患年齢調整死亡率 (人口 10 万人対)	男性 : 34.2 (H27) 女性 : 18.8 (H27)	男性 : 27.4 女性 : 15.0															
項目	現状 (平成 27 (2015) 年)																
脳血管疾患年齢調整死亡率 (人口 10 万人対)	男性 : 34.2 (H27) 女性 : 18.8 (H27)																
(参考指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>平成 28 年度 (計画策定時)</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>t-PA による脳血栓溶解療法実施症例数</td> <td>128 例</td> <td>135 例</td> </tr> </tbody> </table>			項目	平成 28 年度 (計画策定時)	令和元年度	t-PA による脳血栓溶解療法実施症例数	128 例	135 例	(参考指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>平成 28 年度 (計画策定時)</th> <th>現状 (令和 2 年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>t-PA による脳血栓溶解療法実施症例数</td> <td>128 例</td> <td>122 例</td> </tr> </tbody> </table>			項目	平成 28 年度 (計画策定時)	現状 (令和 2 年度)	t-PA による脳血栓溶解療法実施症例数	128 例	122 例
項目	平成 28 年度 (計画策定時)	令和元年度															
t-PA による脳血栓溶解療法実施症例数	128 例	135 例															
項目	平成 28 年度 (計画策定時)	現状 (令和 2 年度)															
t-PA による脳血栓溶解療法実施症例数	128 例	122 例															
(今後の施策) (1) 発症予防 ○ 脳卒中を予防するための生活習慣の改善をめざし、脳卒中やその危険因子に関する知識や情報を提供するとともに、代表的な危険因子に関する学習の機会や場を提供します。 ○ 脳卒中の危険因子である高血圧を予防・改善するため、家庭や外食産業への働きかけによる「減塩」の取組や、市町村を含めた「運動」の取組の環境整備を行います。 ○ 脳卒中やその危険因子の早期発見、早期治療のために、健診を受けやすい体制を強化するとともに、精密検査が必要な人が医療機関を適切に受診できるように勧奨します。			(主な取組) ○ 「減塩」への取組として、減塩メニューである「うま塩メニュー」の普及、拡大に取り組んでいる。 うま塩メニュー提供店舗数は 278 店舗。(R4.12 月末現在) ○ 「運動」への取組として、おおいた歩得のグループ機能を活かし、職場ぐるみで取り組めるよう職場対抗戦を開催するなど、利用者数増加に取り組んでいる。(利用者数 79,293 人 R5.1 月末現在) ○ 10 月を「みんなで延ばそう健康寿命」推進月間とし、県民総参加の健康づくり運動を推進した。 R4.9~11 月 1,161 回 76,472 人														

第 7 次大分県医療計画の進捗状況について（脳卒中医療）

医療計画の記載内容	現 状
<p>(2) 応急手当・病院前救護、急性期医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本人及び家族等周囲にいる者に対し、発症後または発症が疑われる場合は速やかに救急搬送を要請するなどの対処を行うよう普及・啓発を推進します。 ○ 救急隊、かかりつけ医、急性期を担う医療機関が連携し、速やかに専門的治療が受けられるよう、「傷病者の搬送及び受入れの実施基準」により医療機関情報の共有を促進するなど救急搬送体制の充実を図ります。 <p>(3) 回復期・維持期のリハビリテーション、在宅療養支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 急性期から回復期・維持期の一貫したリハビリテーション、退院後のかかりつけ医などによる継続的な療養管理が提供できるよう、切れ目のない医療が行われる体制づくりを推進します。 ○ 脳卒中の後遺症としての口腔機能の低下による誤嚥性肺炎等を防止するため、歯科診療所との連携による口腔ケア、摂食・嚥下リハビリテーションが行える体制整備を促進します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今後、県内の関係機関・団体と連携し、県民への啓発に取り組むこととしたい。 ○ 令和 4 年 4 月に傷病者の搬送及び受入れの実施基準における搬送先医療機関リストの見直しを実施しており、引き続き、大分県救急搬送協議会の下に設置している救急搬送検討部会において適宜見直しを進めていきます。 ○ 県内 14 消防本部の救急 75 台のうち 50 台に 12 誘導心電計を設置し、救急搬送における体制整備を行っている。 ○ モバイル機器を用いた医療コミュニケーションツール「Join」による、県内救急医療機関間の医用画像共有ネットワークを構築し、診療時間の削減や予後の改善、不必要な患者搬送の防止など救急医療体制の充実を図っている。(29 施設) ○ 令和 2 年 3 月に県内医療機関を対象としてアンケートを実施し、本協議会で定めた選定基準（超急性期、急性期、回復期を担う医療機関）を満たす医療機関を一覧表にして、県ホームページで掲載している。 ○ 二次医療圏ごとに運用している「入退院時情報共有ルール」の定着を図っている。 ○ 地域医療介護総合確保基金を活用し、医療機関のリハビリテーション施設整備等に対して支援を行った。 ○ 歯科医師、歯科衛生士等を対象とした、口腔ケア、摂食・嚥下リハビリテーション等に関する研修事業を実施した。 R4：研修回数：1 回（11 月） 参加者 94 名

第 7 次大分県医療計画の進捗状況について（脳卒中医療）

医療計画の記載内容	現 状
<p>○ 在宅医療サービスと在宅介護サービスが相互に連携し、継続して提供できるよう、市町村が行う在宅医療・介護連携事業や地域ケア会議等の取組を推進し、多職種協働による連携体制の構築を図ります。</p>	<p>○ 市町村における医療・介護連携の取組を推進するため、医師会など各専門職団体を組織する県医療・介護連携推進部会（大分県高齢者福祉施策推進協議会の部会）を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部会開催：2回 ・主な議題：おおいた高齢者いきいきプランの進捗状況、県の取組報告、市町村支援に関する方針報告、各団体における医療介護連携の取組について 等

第7次大分県医療計画の進捗状況について（心筋梗塞等の心血管疾患医療）

医療計画の記載内容	現 状																																																												
<p>(現状及び課題)</p> <p>(1) 心筋梗塞等の心血管疾患による死亡の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本県では令和元年に2,146人が心疾患を原因として死亡し、死亡数全体の14.7%を占め、県民の死因の第2位となっています。 ○ このうち、急性心筋梗塞による死亡数は心疾患死亡数全体の20.7%であり、445人となっています。 ○ 急性心筋梗塞の死亡率（人口10万人あたり）は、39.6で全国平均25.5より高くなっています。また、年齢調整死亡率（人口10万人あたり）をみると、平成27年で男性20.7（全国平均16.2）、女性7.5（全国平均6.1）となっており、5年前と比較すると、大幅に減少していますが、全国と比較するとやや高い状況にあります <p>【令和元年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本県における心疾患の死亡数・死亡率（死亡原因 第2位） <table border="1" data-bbox="197 823 1099 1005"> <tr> <td colspan="5">死亡数（人）2,146人（総死亡数に占める割合 14.7%）</td> </tr> <tr> <th>急性心筋梗塞</th> <th>その他虚血性心疾患</th> <th>不整脈・伝導障害</th> <th>心不全</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>445</td> <td>241</td> <td>359</td> <td>823</td> <td>278</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="197 1050 1099 1232"> <tr> <td colspan="5">死亡率（人口10万人あたり）191.1（全国167.9）</td> </tr> <tr> <th>急性心筋梗塞</th> <th>その他虚血性心疾患</th> <th>不整脈・伝導障害</th> <th>心不全</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>39.6</td> <td>21.5</td> <td>32.0</td> <td>73.3</td> <td>24.7</td> </tr> </table> <p>（令和元年厚生労働省人口動態統計、令和元年大分県人口動態統計より）</p>	死亡数（人）2,146人（総死亡数に占める割合 14.7%）					急性心筋梗塞	その他虚血性心疾患	不整脈・伝導障害	心不全	その他	445	241	359	823	278	死亡率（人口10万人あたり）191.1（全国167.9）					急性心筋梗塞	その他虚血性心疾患	不整脈・伝導障害	心不全	その他	39.6	21.5	32.0	73.3	24.7	<p>(令和4年度 現状)</p> <p>【令和3年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本県における心疾患の死亡数・死亡率（死亡原因 第2位） <table border="1" data-bbox="1173 823 2076 1005"> <tr> <td colspan="5">死亡数（人）2,290人（総死亡数に占める割合 15.2%）</td> </tr> <tr> <th>急性心筋梗塞</th> <th>その他虚血性心疾患</th> <th>不整脈・伝導障害</th> <th>心不全</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>401</td> <td>251</td> <td>402</td> <td>966</td> <td>270</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="1173 1050 2076 1232"> <tr> <td colspan="5">死亡率（人口10万人あたり）207.8（全国174.9）</td> </tr> <tr> <th>急性心筋梗塞</th> <th>その他虚血性心疾患</th> <th>不整脈・伝導障害</th> <th>心不全</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>36.4</td> <td>22.8</td> <td>36.5</td> <td>87.7</td> <td>24.4</td> </tr> </table> <p>（令和3年厚生労働省人口動態統計、令和3年大分県人口動態統計より）</p>	死亡数（人）2,290人（総死亡数に占める割合 15.2%）					急性心筋梗塞	その他虚血性心疾患	不整脈・伝導障害	心不全	その他	401	251	402	966	270	死亡率（人口10万人あたり）207.8（全国174.9）					急性心筋梗塞	その他虚血性心疾患	不整脈・伝導障害	心不全	その他	36.4	22.8	36.5	87.7	24.4
死亡数（人）2,146人（総死亡数に占める割合 14.7%）																																																													
急性心筋梗塞	その他虚血性心疾患	不整脈・伝導障害	心不全	その他																																																									
445	241	359	823	278																																																									
死亡率（人口10万人あたり）191.1（全国167.9）																																																													
急性心筋梗塞	その他虚血性心疾患	不整脈・伝導障害	心不全	その他																																																									
39.6	21.5	32.0	73.3	24.7																																																									
死亡数（人）2,290人（総死亡数に占める割合 15.2%）																																																													
急性心筋梗塞	その他虚血性心疾患	不整脈・伝導障害	心不全	その他																																																									
401	251	402	966	270																																																									
死亡率（人口10万人あたり）207.8（全国174.9）																																																													
急性心筋梗塞	その他虚血性心疾患	不整脈・伝導障害	心不全	その他																																																									
36.4	22.8	36.5	87.7	24.4																																																									

第 7 次大分県医療計画の進捗状況について（心筋梗塞等の心血管疾患医療）

医療計画の記載内容			現 状	
(目標)			(目標)	
項目	現状	目標 (令和 5 (2023) 年度)	項目	現状 (平成 27 (2015) 年)
急性心筋梗塞年齢調整死亡率 (人口 10 万人対)	男性 : 20.7 (H27) 女性 : 7.5 (H27)	男性 : 17.1 女性 : 6.2	急性心筋梗塞年齢調整死亡率 (人口 10 万人対)	男性 : 20.7 (H27) 女性 : 7.5 (H27)
			※令和 2 年都道府県別年齢調整死亡率は令和 5 年 1 2 月頃公表予定 (厚生労働省ホームページより)	

第7次大分県医療計画の進捗状況について（心筋梗塞等の心血管疾患医療）

医療計画の記載内容	現 状
<p>（今後の施策）</p> <p>（1）予防</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 心筋梗塞等の心血管疾患を予防するため、メタボリック・シンドローム予防に着目した特定健診・特定保健指導等の推進を図るとともに、本県の実情を踏まえて発症率や死亡率を有効的に低下させる要因なども考慮し、県民が生活習慣を改善できるよう支援します。 ○ 心筋梗塞等の心血管疾患やその危険因子の早期発見、早期治療のために、地域・職域連携協議会や県医師会、検診機関等との連携により検診を受けやすい体制を強化するとともに、精密検査が必要な人が医療機関を適切に受診できる体制を整備し、受診を勧奨します。 ○ 初期症状出現時における対応について、本人及び家族等患者の周囲にいる者に対する教育、啓発を実施します。 	<p>（主な取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 特定健診の受診率向上と生活習慣病の重症化予防を目的に、テレビCM・大分駅デジタルサイネージ・バス広告・SNS等を活用した普及啓発を実施した。 ○ 特定健診の受診率向上のため、大分県医師会と特定健診の集合契約を行い、市町村国民健康保険の被保険者が居住する地域以外の医療機関で健診を受診できる体制を整備した。 ○ 医療レセプト・健診データ分析結果に基づき、ナッジ理論を活用した受診勧奨をモデル市町村において実施した。 ○ 特定保健指導担当者等を対象に、専門医による循環器疾患に関する保健指導やコロナ禍におけるオンラインを活用した効果的な保健指導に関する研修を行った。 ○ 心疾患などの生活習慣病の重症化予防を目的に、医療レセプト・健診データ分析結果に基づき、治療中断者等に対して適切な医療機関受診を働きかける勧奨事業をモデル市町村において実施した。 ○ 「減塩」への取組として、減塩メニューである「うま塩メニュー」の普及、拡大に取り組んでいる。 うま塩メニュー提供店舗数：278店舗。（R4.12月末現在） ○ 「運動」への取組として、おおいた歩得のグループ機能を活かし、職場ぐるみで取り組めるよう職場対抗戦を開催するなど、利用者数増加に取り組んでいる。 利用者数 79,293人（R5.1月末現在） ○ 10月を「みんなで延ばそう健康寿命」推進月間とし、県民総参加の健康づくり運動を推進した。 R4.9～11月 1,161回 76,472人

第 7 次大分県医療計画の進捗状況について（心筋梗塞等の心血管疾患医療）

医療計画の記載内容	現 状
<p>(2) 救護</p> <p>○ 心筋梗塞等の心血管疾患を発症し心肺停止となった場合に、患者の近くにいる者が迅速に対応できるよう、市町村、関係団体等と連携して、AEDの使用を含めた心肺蘇生法の講習の充実を図るとともに、県民へのAEDの有用性や設置状況等の情報提供に努めます。 また、設置者に対して適正な管理を行うよう周知に努めていきます。</p> <p>(3) 急性期、回復期、再発予防</p> <p>○ 心筋梗塞等の心血管疾患の急性期の専門的治療や回復期のリハビリテーションを行う医療機関、再発予防を担うかかりつけ医などが連携できるよう、情報提供や多職種による協働・連携を促進するなど、在宅医療も含め、切れ目のない医療が行われる体制づくりを推進します。</p>	<p>○ 県全職員を対象とした、AED講習を実施した。 (開催回数 8回 参加人数 103名)</p> <p>○ AED設置機関に対して、設置状況の確認及び適切な管理について県ホームページで周知している。 AED設置状況 令和3年度：2,181施設 2,580台 令和2年度：2,167施設 2,560台 令和元年度：2,133施設 2,437台</p> <p>○ 令和2年3月に県内医療機関を対象としてアンケートを実施し、本協議会で定めた選定基準（超急性期、急性期、回復期を担う医療機関）を満たす医療機関を一覧表にして、県ホームページで掲載している。</p> <p>○ 市町村における医療・介護連携の取組を推進するため、医師会など各専門職団体で組織する県医療・介護連携推進部会（大分県高齢者福祉施策推進協議会の部会）を開催した。 ・部会開催：2回 ・主な議題：おおいた高齢者いきいきプランの進捗状況、県の取組報告、市町村支援に関する方針報告、各団体における医療介護連携の取組について 等</p> <p>○ 保健所圏域ごとに運用している「入退院時情報共有ルール」の定着を図っている。</p> <p>○ 地域医療介護総合確保基金を活用し、医療機関のリハビリテーション施設整備等に対して支援を行っている。</p>